

13 いちのみや秋の緑化フェア

- 【日 時】 平成 29 年 10 月 8 日(日)～9 日(月・祝) 9:30～16:00
【場 所】 愛知県一宮市 138 タワーパーク
【内 容】 以下のとおり

一宮市が事務局を持つ「いちのみやリバーサイドフェスティバル運営協議会」が主催し、毎秋に開催される『2017 いちのみや秋の緑化フェア』に今年も木曾地域から参加・出展いたしました。

このイベントは、市民の緑化推進を目的として行われ、木・花苗の配布や販売、ガーデンコンテストの作品展示、木工体験（ミニ椅子製作）、花の寄せ植え教室、緑化推進に関する様々なブースがありました。また、野外ステージでは、市民団体による太鼓や舞踊などの芸能発表やフットサルチームのPR、御当地アイドルのパフォーマンスなど、多彩な内容でお客さんを集めていました。

今回木曾広域連合ブースでは、箸づくり体験と観光PR（パンフレットの配布）のほか、木曾青峰高校の森林環境科・インテリア科の生徒 20 人（+教員 3 人）が参加し、生徒自身が製作した木工小物などの販売を併せて行いました。

初日・2 日目とも好天に恵まれ、2 日間で 30,982 人（主催者発表）と昨年を大きく上回る来場者がありました。（*昨年は 22,515 人）

箸づくり体験は、高校生にもスタッフとして参加してもらい、お客様に作り方の指導をしてもらいました。参加者の大半が子どもでしたが、カンナの使い方はもちろん、仕上げのやすりがけや電熱ペンの名入れまで、一人一人に最後まで丁寧について指導してくれました。

結果的に 2 日間で 74 名（初日：27 名、2 日目：47 名）もの多くお客様に体験をしていただくことが出来ました。体験をされた方の中には、毎年、このイベントの度に箸を作り、更新しているという方もいらっしゃいました。箸づくりや観光パンフレットの配布などを通じて、多くの一宮市民と交流を図ることが出来ました。

また、郡内事業者（ボン・プラン、ごへー本舗、ファーストグリーン、木曾の食と酒振興会）に協力をいただき、木曾の特産品の販売も行いました。5 月の連休中に行われるリバーサイドフェスティバルほどの集客は見られませんでした。『木曾の食と酒振興会』のブースなどは 2 日分として持ってきたリンゴやブドウが初日に完売してしまい、急遽 2 日目の朝に新しい商品を取りに行くなど、予想よりも売れ行きが良く、嬉しい誤算でした。フードコートもリバーサイドフェスティバルに比べると出店業者が少なく、ブース前に机・椅子を設置した休憩スペースもあった為、1 日を通してコンスタントに集客がみられていました。ただ、ごへー餅の販売を行っていた『ごへー本舗』の隣のブースで、今年初出店の『東白川村役場』もごへー餅の販売を行っており、『ごへー本舗』よりも 10 円安い価格で販売していた為、2 日目に急遽、同価格に設定するなどの対応を迫られました。来年度以降ブース位置の検討が必要かと思われます。

◎ 当日の様子



広域連合ブース（箸づくり体験）①



広域連合ブース（箸づくり体験）②



特産品の販売①



特産品の販売②



特産品の販売③



特産品の販売④